

『星を見る会⑩（最終回）』の様子

平成31年2月2日（土）「星を見る会⑩（最終回）」が実施されました。この事業は、「専門家の指導を受けながら、親子で大型天体望遠鏡を使って季節ごとの星や星座の観察をしたり、プラネタリウムで天体学習をしたりすることをおして、宇宙や天体への興味・関心を高める。」ことを目的としています。また、「各活動を行うことで親子の交流を図る。」ことを目的とした事業です。4月から2月までの期間で、全10回（他に火星の特別版を8月に1回実施）開催し、延べ918名の参加がありました。

参加した子どもたちは、毎回スタンプカードに職員からスタンプが1個ずつ押印され、最終日の2月2日（土）は、12名の子どもたちが、コンプリート（全10回のスタンプ達成）しました。

会の終了には、その功績を称え、天体指導員から一人ずつ記念品が渡されました。

〈星を見る会⑩（最終回）から〉

受付時スタンプ押印



南の空の星空観察（野外）



天体望遠鏡で星空観察（南の空）



記念品を前にして



天体指導員のあいさつ



来年度の「星を見る会」も、ぜひ、よろしくお願いいたします。